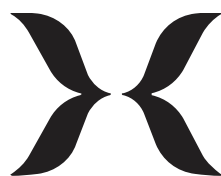


2025(令和7)年度
卒業予定者アンケート調査結果



比治山大学
比治山大学短期大学部

教育研究開発センター

2026(令和8年)3月

調査の概要

1. 目的 卒業予定者に対し、在学期間を通しての成長実感、本学への評価を聴取することで、本学の強み・弱みや学生の特性・特徴を把握し、今後の本学の発展のための参考資料とする。
2. 対象 令和7（2025）年度 卒業予定者 比治山大学4年生（2022年度生）
比治山大学短期大学部2年生（2024年度学生）
3. 調査方法 インターネット調査
4. 調査期間 2026（令和8）年1月6日～1月31日
5. 回収状況

	対象者*	回収者数	回収率
■大学	290名	218名	75.17%
現代文化学部 言語文化学科	81名	54名	66.67%
現代文化学部 マスコミュニケーション学科	54名	45名	83.33%
現代文化学部 社会臨床心理学科	57名	27名	47.37%
現代文化学部 子ども発達教育学科	56名	55名	98.21%
健康栄養学部 管理栄養学科	42名	37名	88.10%
■短期大学部	140名	109名	77.86%
短期大学部 幼児教育科	48名	38名	79.17%
短期大学部 総合生活デザイン学科	35名	32名	91.43%
短期大学部 美術科	57名	39名	68.42%
総計	430名	327名	76.05%

*2025（令和7）5月現在卒業（修了）年次在籍者数

6. 実施 教育研究開発センター 評価・IR部門
7. 集計 大学・短期大学部に分けて表記した。
所属・自由記述等の項目は除く。経年で調査する項目を掲載する。

卒業認定・学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー）

【言語文化学科（日本語文化コース）】

- 1 他者への想像力を働かせるとともに、自己の思考・判断のプロセスや結果を論理的に説明できる高い理解力・表現力及び豊かなコミュニケーション能力を身に付けている。
- 2 日本語学・日本文学・日本文化及びそれらの表現・創作に関する専門知識と技能を身に付けている。

3 地域社会，教育界をはじめ現代日本における諸課題について，その本質を追究する視点と姿勢を持ち，豊かな発想力をもって解決策を見出す力と態度を身に付けている。

【言語文化学科（国際コミュニケーションコース）】

- 1 国際社会，地域社会に貢献できる高いレベルの思考力・判断力と自己及び他者が協働できる力を身に付けている。
- 2 発信型の英語力を基に，国際社会，地域社会に貢献できる専門的な知識・技能を身に付けている。
- 3 異文化に関する実践的な素養と実践力をもとに，国際社会，地域社会，教育界へ高い関心を有して活躍できる力と態度を身に付けている。

【マスコミュニケーション学科】

- 1 「話す・聴く・読む・書く」力及び「チームで取り組む」力に支えられた高いレベルのコミュニケーション能力を身に付けている。
- 2 テレビ・新聞などの在来メディアとインターネットなどの新しいメディア双方に関する専門的知識・技能を持ち，ビジネスの現場，地域社会において，「取材・調査・企画・制作・情報発信」などの対応ができる知識・技能を身に付けている。
- 3 地域が有する多様な魅力を発見し，さらに，それらを地域を活性化させる情報や観光プランへと発展させるための力と態度を身に付けている。

【社会臨床心理学科】

- 1 自分自身だけではなく，他者の心や行動を理解し，共生社会におけるコミュニケーション力とチームワーク力をもって，他者を支援・援助することができる能力を身に付けている。
- 2 心理学に関する実験や調査をはじめとする科学的手法を用いて，人間の心の状態や行動を解明し，データに基づいて報告書を作成する知識と技能を身に付けている。
- 3 心理学の知識・技術をふまえ，地域社会の要請に応え，課題を解決する態度を身に付けている。

【子ども発達教育学科】

- 1 子どもの健全な発達を支援するにふさわしい豊かなコミュニケーション力と創造力・表現力を身に付けている。
- 2 子どもの発達を把握し，学習指導や各種の支援を行うために必要な専門的知識と技能を習得し，子どもの表現力，思考力，判断力を育成できる実践力を身に付けている。
- 3 学校，幼稚園，保育所をはじめ広く地域社会において子育てや教育など次世代の育成支援に積極的に寄与しようとする態度を身に付けている。

【管理栄養学科】

- 1 健康・栄養問題を解決する上で求められるコミュニケーション力、プレゼンテーション力、チームワーク力を有し、栄養マネジメントに沿って栄養の指導を実践するために必要な能力を身に付けている。
- 2 栄養学の専門的な知識・技能を修得し、ライフステージすべてにわたる健康・栄養問題の解決に広く活用できる知識・技能を身に付けている。
- 3 食と健康分野で社会の福祉及び教育の発展などに貢献しようとする意欲を持ち、生涯にわたって学びを継続する意欲と態度を身に付けている。

【幼児教育科】

- 1 子どもの最善の利益を尊重し、保育に携わるうえで欠かせない多様な状況における思考力と判断力及び豊かなコミュニケーション力を身に付けている。
- 2 子どもの心身の健康、発達、保育の本質や保育者の役割などに関する基礎的、基本的な知識と技能を身に付けている。
- 3 保育者としての専門性を深め、生活に即した保育を構想することを通して、自己実現の喜びを持つとともに社会に貢献しようとする力と態度を身に付けている。

【総合生活デザイン学科】

- 1 よりよい自己実現をめざすため、自己肯定感に支えられた高い傾聴、受信力を持ち、自らの人生をデザインし、社会の一員として共に生きるための資質・能力を身に付けている。
- 2 生活に関わる分野において社会に寄与できる人材として自立するための確かな専門的知識・技能及び実践力を身に付けている。
- 3 職業人としての自覚を深め、継続的に専門性を高めつつ地域社会や教育界における課題を分析し問題解決する力と態度を身に付けている。

【美術科】

- 1 芸術活動や制作活動を通して、自己表現と伝達を実現するための表現力・創造力および社会において豊かな人間関係を築く力を身に付けている。
- 2 美術分野の基盤となる素材や技術に関する専門的知識と技能を身に付け、それらを用いた創造性豊かな表現ができる力を身に付けている。
- 3 芸術活動や制作活動の中で常に向上心を持ち、集中力や持続力を保つ中で専門性を磨き、表現者・職業人として地域社会や教育界に貢献できる力と態度を身に付けている。

問1 大学に入ってから受けた授業で、次の項目はどのくらいありましたか。

		(%)			
		よくあった	ある程度あった	あまりなかった	なかった
理解がしやすいように教え方が工夫されていた。	大学	39.4	58.3	1.4	0.9
	短期大学部	50.5	46.8	2.8	0.0
予習・復習など授業時間外に行うべき学習が指示される。	大学	31.2	55.0	12.4	1.4
	短期大学部	30.3	55.0	13.8	0.9
課題等の提出物に適切なコメントが付されて返却される。	大学	29.8	49.5	17.0	3.7
	短期大学部	32.1	43.1	20.2	4.6
グループワークやディスカッションの機会がある。	大学	45.4	50.5	4.1	0.0
	短期大学部	45.9	47.7	6.4	0.0
質疑応答など、教員等との意見交換の機会がある。	大学	35.3	52.3	11.0	1.4
	短期大学部	40.4	45.9	11.9	1.8
ティーチングアシスタントなどによる補助的な指導がある。	大学	27.5	47.2	22.0	3.2
	短期大学部	29.4	47.7	18.3	4.6

問2 大学在学中に経験した以下の項目はどの程度有用だったと感じますか。

		(%)				
		有用だった	ある程度有用だった	あまり有用ではなかった	有用ではなかった	経験していない
インターンシップ（5日間以上）	大学	13.3	9.2	6.4	4.1	67.0
	短期大学部	10.1	16.5	2.8	2.8	67.9
海外留学・海外研修（短期も含む）	大学	4.1	6.4	3.2	3.7	82.6
	短期大学部	5.5	6.4	1.8	3.7	82.6
主に英語で行われる授業の履修（語学科目を除く）	大学	11.9	28.0	11.5	5.0	43.6
	短期大学部	7.3	21.1	11.9	6.4	53.2

問3 大学教育を通じて、次のような知識や能力などが身に付いたと思いますか。

		(%)			
		身に付いた	ある程度身に付いた	あまり身に付いていない	身に付いていない
専門分野に関する知識・理解	大学	48.2	47.2	4.1	0.5
	短期大学部	53.2	45.0	1.8	0.0
将来の仕事につながるような知識・スキル・態度・価値観	大学	47.2	41.3	10.6	0.9
	短期大学部	48.6	46.8	4.6	0.0
文献・資料を収集・分析する力	大学	39.0	52.8	6.9	1.4
	短期大学部	31.2	62.4	5.5	0.9
論理的に文章を書く力	大学	33.5	56.4	9.2	0.9
	短期大学部	21.1	64.2	10.1	4.6
人に分かりやすく話す力	大学	40.8	46.8	10.6	1.8
	短期大学部	33.9	54.1	9.2	2.8
外国語を使う力	大学	15.1	30.7	33.5	20.6
	短期大学部	14.7	25.7	33.9	25.7
数理・統計・データサイエンスに関する知識・技能	大学	15.1	44.0	29.8	11.0
	短期大学部	15.6	38.5	31.2	14.7
問題を見つけて解決方法を考える力	大学	31.7	60.1	6.9	1.4
	短期大学部	25.7	59.6	11.9	2.8
他者と協働する力	大学	49.1	44.0	6.0	0.9
	短期大学部	52.3	40.4	7.3	0.0
幅広い知識、ものの見方	大学	45.4	48.6	4.1	1.8
	短期大学部	43.1	54.1	2.8	0.0
異なる文化に関する知識・理解	大学	30.7	48.6	15.6	5.0
	短期大学部	28.4	53.2	17.4	0.9
ICTを活用する知識・能力	大学	22.0	46.3	20.6	11.0
	短期大学部	22.0	46.8	22.0	9.2

問4 これまでの大学での学び全体を振り返って、次の項目についてどのように思いますか。

		(%)			
		そう思う	ある程度そう思う	あまりそうは思わない	そうは思わない
卒業時まで身に付けるべき知識や能力を意識して学修している。	大学	34.9	59.2	4.6	1.4
	短期大学部	45.0	48.6	6.4	0.0
授業アンケート等の学生の意見を通じて大学教育が良くなっている。	大学	23.9	47.7	24.3	4.1
	短期大学部	28.4	51.4	18.3	1.8
教職員が熱心に教育に取り組んでいる。	大学	36.7	56.0	6.4	0.9
	短期大学部	42.2	51.4	4.6	1.8
大学の学びによって成長を実感している。	大学	38.5	52.3	7.3	1.8
	短期大学部	44.0	52.3	3.7	0.0

問5 今年度後期の授業期間中の平均的な1週間（7日間）の生活時間は、それぞれどのくらいですか。

		(%)						
		0時間	1－5時間	6－10時間	11－15時間	16－20時間	21－30時間	31時間以上
授業への出席 （実験・実習、 オンライン授業 を含む）	大学	7.8	62.8	13.3	6.0	3.2	3.2	3.7
	短期大学部	3.7	34.9	25.7	22.0	2.8	4.6	6.4
卒業論文・卒業 研究・卒業制作	大学	2.3	45.9	22.9	7.3	7.3	5.5	8.7
	短期大学部	2.8	33.9	32.1	11.0	5.5	3.7	11.0
予習・復習・課 題など授業に関 する学習（卒業 論文等は除く）	大学	24.3	58.7	7.3	5.5	1.8	0.5	1.8
	短期大学部	22.9	55.0	11.0	5.5	2.8	1.8	0.9
授業と直接関係し ない自主的な学習（学 問に関する読書や ディスカッション、 実技の練習、資格試 験の勉強等）	大学	28.9	46.3	11.0	6.0	2.8	4.1	0.9
	短期大学部	31.2	43.1	16.5	3.7	0.0	2.8	2.8
部活動／サーク ル活動	大学	73.4	14.7	6.9	2.8	1.4	0.5	0.5
	短期大学部	74.3	11.9	5.5	4.6	0.0	0.9	2.8
アルバイト／定 職	大学	16.5	15.6	11.9	21.1	12.8	9.6	12.4
	短期大学部	19.3	17.4	23.9	17.4	8.3	5.5	8.3

問6. 本学について、あなたは次の点でどのくらい満足していますか。

		(%)			
		満足	やや満足	やや不満	不満
授業全般	大学	37.6	56.4	4.1	1.8
	短期大学部	45.9	49.5	4.6	0.0
授業外での教員との関わり	大学	41.3	51.8	5.5	1.4
	短期大学部	44.0	50.5	4.6	0.9
図書館などの学習施設	大学	35.3	52.3	10.1	2.3
	短期大学部	34.9	57.8	5.5	1.8
パソコンなどの情報環境、サポート	大学	38.1	48.6	11.5	1.8
	短期大学部	33.9	61.5	3.7	0.9
就職指導・サポート	大学	37.2	47.2	11.9	3.7
	短期大学部	34.9	54.1	11.0	0.0
学習・その他のサポート	大学	36.2	52.8	9.2	1.8
	短期大学部	35.8	54.1	10.1	0.0
大学生活全般	大学	40.8	50.9	6.0	2.3
	短期大学部	47.7	46.8	4.6	0.9

問7. 以下について、自分にどの程度あてはまると思いますか。

		(%)				
		あてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	ややあてはまらない	あてはまらない
始めたことは何であれやり遂げる	大学	28.9	51.4	12.8	5.5	1.4
	短期大学部	31.2	48.6	13.8	6.4	0.0
頑張りやである	大学	28.0	47.2	15.6	6.4	2.8
	短期大学部	31.2	43.1	19.3	5.5	0.9
終わるまで何カ月もかかる計画にずっと興味を持ち続けるのは難しい	大学	22.0	38.1	22.5	12.8	4.6
	短期大学部	26.6	46.8	17.4	8.3	0.9
私は困難にめげない	大学	22.0	46.3	21.6	6.9	3.2
	短期大学部	21.1	36.7	27.5	14.7	0.0
物事に対して夢中になっても、しばらくするとすぐに飽きてしまう	大学	17.4	44.5	17.4	17.4	3.2
	短期大学部	22.9	47.7	16.5	11.0	1.8
いったん目標を決めてから、後になって別の目標に変えることがよくある	大学	20.6	42.2	17.9	15.1	4.1
	短期大学部	26.6	41.3	19.3	11.0	1.8
勤勉である	大学	13.3	35.8	30.3	13.8	6.9
	短期大学部	13.8	25.7	37.6	19.3	3.7
新しいアイデアや計画を思いつくと、以前の計画から関心がそれる	大学	19.7	41.7	22.0	14.2	2.3
	短期大学部	22.0	44.0	23.9	9.2	0.9

問8. あなたは以下の「4×3の比治山力」の12の項目について、現在どの程度あてはまると思いますか。項目ごとに、あてはまるもの（達成度）をお選びください。（各項目1つ選択）※項目の中の「チーム」という言葉は、共同研究・共同発表や授業の中のグループワーク、クラブ・サークル活動や行事参加などで、同じ目標達成や課題解決を目指す集団を指します。

		(%)				
		あてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	あてはまらない
課題に取り組むために、必要な情報を自分で集めることができる	大学	30.3	59.2	6.9	3.2	0.5
	短期大学部	28.4	59.6	10.1	1.8	0.0
集めた情報に基づいて、論理的に考えることができる	大学	21.1	56.0	17.9	5.0	0.0
	短期大学部	12.8	55.0	27.5	3.7	0.9
自分の興味関心に基づいて、課題やテーマを設定することができる	大学	31.7	53.2	11.9	3.2	0.0
	短期大学部	31.2	56.9	10.1	1.8	0.0
課題に取り組む際に、いろいろなアイデアを考え出すことができる	大学	25.2	51.4	18.3	4.6	0.5
	短期大学部	33.0	52.3	13.8	0.9	0.0
課題解決に向けて、見通しを持った企画・計画を立てることができる	大学	20.6	53.2	18.3	6.9	0.9
	短期大学部	15.6	47.7	22.0	11.0	3.7
自分とは異なる意見にも、耳を傾けることができる	大学	45.0	46.8	8.3	0.0	0.0
	短期大学部	45.0	47.7	6.4	0.9	0.0
課題解決に向けて、まわりの人と意見をやりとりすることができる	大学	36.2	51.4	11.0	0.9	0.5
	短期大学部	33.9	53.2	10.1	1.8	0.9
チームに貢献できるような行動をとることができる	大学	30.3	54.1	11.9	3.2	0.5
	短期大学部	25.7	54.1	14.7	4.6	0.9
他者との意見交換から、自分の意見の正しいところと間違っているところを振り返って把握することができる	大学	32.6	56.0	9.2	2.3	0.0
	短期大学部	21.1	61.5	13.8	3.7	0.0
自分やチームのアイデアを、レポートや作品などの形として表現することができる	大学	27.1	53.2	14.2	5.0	0.5
	短期大学部	28.4	55.0	11.9	4.6	0.0
効果的な表現方法でプレゼンテーションをすることができる	大学	26.6	43.6	21.1	7.8	0.9
	短期大学部	19.3	51.4	16.5	9.2	3.7
自分で気づいて発見した社会や地域の課題について、解決に向けて取り組むことができる	大学	20.2	53.7	20.6	5.0	0.5
	短期大学部	17.4	44.0	29.4	5.5	3.7

問9. あなたは本学を、これから進学する身の周りの人にどの程度お勧めしたいと思いますか。

	(%)			
	是非勧めたい	勧めてもよい	どちらかという と勧めたくない	全く勧めたくない
大学	20.2	67.0	8.3	4.6
短期大学部	32.1	57.8	8.3	1.8

問11. 自身の現在にあてはまるもの（達成度）、また入学時と卒業時を比較してあてはまるもの（成長実

現代文化学部
言語文化学科 日本語文化コース

	達成度				
卒業認定・学位授与に関する方針 (ディプロマ・ポリシー)	あてはまる (%)	ややあてはまる (%)	どちらともいえない (%)	あまりあてはまらない (%)	あてはまらない (%)
他者への想像力を働かせるとともに、自己の思考・判断のプロセスや結果を論理的に説明できる高い理解力・表現力及び豊かなコミュニケーション能力を身に付けている	17.6	61.8	11.8	8.8	0.0
日本語学・日本文学・日本文化及びそれらの表現・創作に関する専門知識と技能を身に付けている	35.3	58.8	2.9	2.9	0.0
地域社会、教育界をはじめ現代日本における諸課題について、その本質を追究する視点と姿勢を持っている	14.7	55.9	14.7	14.7	0.0
地域社会、教育界をはじめ現代日本における諸課題について、豊かな発想力をもって解決策を見出す力と態度を身に付けている	11.8	55.9	14.7	17.6	0.0

成長実感				
成長した (%)	やや成長した (%)	どちらともいえない (%)	あまり成長していない (%)	成長していない (%)
29.4	58.8	0.0	8.8	2.9
41.2	50.0	2.9	2.9	2.9
26.5	52.9	14.7	2.9	2.9
26.5	58.8	11.8	0.0	2.9

現代文化学部
言語文化学科 国際コミュニケーションコース

	達成度				
卒業認定・学位授与に関する方針 (ディプロマ・ポリシー)	あてはまる (%)	ややあてはまる (%)	どちらともいえない (%)	あまりあてはまらない (%)	あてはまらない (%)
国際社会、地域社会に貢献できる高いレベルの思考力・判断力と自己及び他者が協働できる力を身に付けている	35.0	60.0	5.0	0.0	0.0
発信型の英語力を基に、国際社会、地域社会に貢献できる専門的な知識・技能を身に付けている	30.0	65.0	5.0	0.0	0.0
異文化に関する実践的な素養と実践力をもとに、国際社会、地域社会、教育界へ高い関心を有して活躍できる力と態度を身に付けている	45.0	50.0	5.0	0.0	0.0

成長実感				
成長した (%)	やや成長した (%)	どちらともいえない (%)	あまり成長していない (%)	成長していない (%)
55.0	35.0	5.0	0.0	5.0
45.0	40.0	10.0	0.0	5.0
50.0	40.0	5.0	0.0	5.0

問11. 自身の現在にあてはまるもの（達成度）、また入学時と卒業時を比較してあてはまるもの（成長

現代文化学部 マスコミュニケーション学科										
卒業認定・学位授与に関する方針 (ディプロマ・ポリシー)	達成度					成長実感				
	あてはまる (%)	ややあてはまる (%)	どちらともいえない (%)	あまりあてはまらない (%)	あてはまらない (%)	成長した (%)	やや成長した (%)	どちらともいえない (%)	あまり成長していない (%)	成長していない (%)
「話す・聴く・読む・書く」力及び「チームで取り組む」力に支えられた高いレベルのコミュニケーション能力を身に付けている	40.0	42.2	15.6	2.2	0.0	46.7	31.1	15.6	4.4	2.2
テレビ・新聞などの在来メディアとインターネットなどの新しいメディア双方に関する専門的知識・技能を持っている	31.1	37.8	24.4	6.7	0.0	42.2	33.3	13.3	11.1	0.0
ビジネスの現場、地域社会において、「取材・調査・企画・制作・情報発信」などの対応ができる知識・技能を身に付けている	37.8	31.1	26.7	4.4	0.0	46.7	33.3	13.3	6.7	0.0
地域が有する多様な魅力を発見することができる	42.2	24.4	26.7	6.7	0.0	42.2	35.6	17.8	2.2	2.2
地域が有する多様な魅力を、地域を活性化させる情報や観光プランへと発展させるための力と態度を身に付けている	37.8	31.1	20.0	8.9	2.2	42.2	28.9	20.0	6.7	2.2

現代文化学部 社会臨床心理学科										
卒業認定・学位授与に関する方針 (ディプロマ・ポリシー)	達成度					成長実感				
	あてはまる (%)	ややあてはまる (%)	どちらともいえない (%)	あまりあてはまらない (%)	あてはまらない (%)	成長した (%)	やや成長した (%)	どちらともいえない (%)	あまり成長していない (%)	成長していない (%)
自分自身だけではなく、他者の心や行動を理解することができる	40.7	55.6	3.7	0.0	0.0	51.9	44.4	3.7	0.0	0.0
共生社会におけるコミュニケーション力とチームワーク力をもって、他者を支援・援助することができる能力を身に付けている	29.6	48.1	14.8	7.4	0.0	55.6	37.0	7.4	0.0	0.0
心理学に関する実験や調査をはじめとする科学的手法を用いて、人間の心の状態や行動を解明することができる	25.9	40.7	22.2	11.1	0.0	33.3	48.1	18.5	0.0	0.0
心理学に関する実験や調査をはじめとする科学的手法を用いて、データに基づいて報告書を作成する知識と技能を身に付けている	29.6	55.6	11.1	3.7	0.0	48.1	37.0	14.8	0.0	0.0
心理学の知識・技術をふまえ、地域社会の要請に応えることができる	22.2	29.6	33.3	14.8	0.0	29.6	51.9	14.8	3.7	0.0
心理学の知識・技術をふまえ、課題を解決する態度を身に付けている	22.2	59.3	11.1	7.4	0.0	44.4	44.4	7.4	3.7	0.0

問11. 自身の現在にあてはまるもの（達成度）、また入学時と卒業時を比較してあてはまるもの（成長

現代文化学部 子ども発達教育学科										
卒業認定・学位授与に関する方針 (ディプロマ・ポリシー)	達成度					成長実感				
	あてはまる (%)	ややあてはまる (%)	どちらともいえない (%)	あまりあてはまらない (%)	あてはまらない (%)	成長した (%)	やや成長した (%)	どちらともいえない (%)	あまり成長していない (%)	成長していない (%)
子どもの健全な発達を支援するにふさわしい豊かなコミュニケーション力と創造力・表現力を身に付けている	32.7	60.0	3.6	1.8	1.8	50.9	43.6	1.8	0.0	3.6
子どもの発達を把握し、学習指導や各種の支援を行うために必要な専門的知識と技能を習得している	23.6	61.8	10.9	1.8	1.8	58.2	34.5	3.6	0.0	3.6
子どもの発達を把握し、子どもの表現力、思考力、判断力を育成できる実践力を身に付けている	29.1	60.0	7.3	1.8	1.8	52.7	38.2	5.5	0.0	3.6
学校、幼稚園、保育所をはじめ広く地域社会において子育てや教育など次世代の育成支援に積極的に寄与しようとする態度を身に付けている	38.2	52.7	5.5	1.8	1.8	54.5	41.8	0.0	0.0	3.6

健康栄養学部 管理栄養学科										
卒業認定・学位授与に関する方針 (ディプロマ・ポリシー)	達成度					成長実感				
	あてはまる (%)	ややあてはまる (%)	どちらともいえない (%)	あまりあてはまらない (%)	あてはまらない (%)	成長した (%)	やや成長した (%)	どちらともいえない (%)	あまり成長していない (%)	成長していない (%)
健康・栄養問題を解決する上で求められるコミュニケーション力、プレゼンテーション力、チームワーク力を有している	24.3	56.8	13.5	5.4	0.0	32.4	51.4	10.8	5.4	0.0
栄養マネジメントに沿って栄養の指導を実践するために必要な能力を身に付けている	16.2	51.4	18.9	13.5	0.0	24.3	54.1	16.2	5.4	0.0
栄養学の専門的な知識・技能を修得している	10.8	64.9	18.9	5.4	0.0	29.7	56.8	10.8	2.7	0.0
ライフステージすべてにわたる健康・栄養問題の解決に広く活用できる知識・技能を身に付けている	10.8	70.3	13.5	5.4	0.0	29.7	51.4	16.2	2.7	0.0
食と健康分野で社会の福祉及び教育の発展などに貢献しようとする意欲を持っている	21.6	56.8	16.2	2.7	2.7	32.4	43.2	21.6	2.7	0.0
生涯にわたって学びを継続する意欲と態度を身に付けている	16.2	59.5	21.6	2.7	0.0	32.4	48.6	16.2	2.7	0.0

問11. 自身の現在にあてはまるもの（達成度）、また入学時と卒業時を比較してあてはまるもの（成長

短期大学部 幼児教育科										
卒業認定・学位授与に関する方針 (ディプロマ・ポリシー)	達成度					成長実感				
	あてはまる (%)	ややあてはまる (%)	どちらともいえない (%)	あまりあてはまらない (%)	あてはまらない (%)	成長した (%)	やや成長した (%)	どちらともいえない (%)	あまり成長していない (%)	成長していない (%)
子どもの最善の利益を尊重することができる	81.6	15.8	2.6	0.0	0.0	68.4	28.9	2.6	0.0	0.0
保育に携わるうえで欠かせない多様な状況における思考力と判断力及び豊かなコミュニケーション力を身に付けている	57.9	31.6	10.5	0.0	0.0	65.8	31.6	2.6	0.0	0.0
子どもの心身の健康、発達、保育の本質や保育者の役割などに関する基礎的、基本的な知識と技能を身に付けている	63.2	26.3	10.5	0.0	0.0	71.1	26.3	2.6	0.0	0.0
保育者としての専門性を深めている	68.4	23.7	7.9	0.0	0.0	76.3	21.1	2.6	0.0	0.0
生活に即した保育を構想することを通して、自己実現の喜びを持つとともに社会に貢献しようとする力と態度を身に付けている	71.1	23.7	5.3	0.0	0.0	63.2	34.2	2.6	0.0	0.0

短期大学部 総合生活デザイン学科										
卒業認定・学位授与に関する方針 (ディプロマ・ポリシー)	達成度					成長実感				
	あてはまる (%)	ややあてはまる (%)	どちらともいえない (%)	あまりあてはまらない (%)	あてはまらない (%)	成長した (%)	やや成長した (%)	どちらともいえない (%)	あまり成長していない (%)	成長していない (%)
よりよい自己実現をめざすため、自己肯定感に支えられた高い傾聴、受信用を持っている	37.5	50.0	9.4	3.1	0.0	37.5	53.1	6.3	3.1	0.0
よりよい自己実現をめざすため、自らの人生をデザインしている	37.5	53.1	9.4	0.0	0.0	40.6	46.9	12.5	0.0	0.0
よりよい自己実現をめざすため、社会の一員として共に生きるための資質・能力を身に付けている	40.6	50.0	9.4	0.0	0.0	40.6	50.0	6.3	3.1	0.0
生活に関わる分野において社会に寄与できる人材として自立するための確かな専門的知識・技能及び実践力を身に付けている	40.6	50.0	9.4	0.0	0.0	37.5	53.1	9.4	0.0	0.0
職業人としての自覚を深めている	40.6	43.8	12.5	3.1	0.0	40.6	50.0	9.4	0.0	0.0
継続的に専門性を高めつつ地域社会や教育界における課題を分析し問題解決する力と態度を身に付けている	40.6	50.0	6.3	3.1	0.0	43.8	50.0	6.3	0.0	0.0

問11. 自身の現在にあてはまるもの（達成度）、また入学時と卒業時を比較してあてはまるもの（成長

短期大学部 美術科		達成度					成長実感				
卒業認定・学位授与に関する方針 (ディプロマ・ポリシー)	あてはまる (%)	ややあてはまる (%)	どちらともいえない (%)	あまりあてはまらない (%)	あてはまらない (%)		成長した (%)	やや成長した (%)	どちらともいえない (%)	あまり成長していない (%)	成長していない (%)
芸術活動や制作活動を通して、自己表現と伝達を実現するための表現力・創造力を身に付けている	41.0	56.4	2.6	0.0	0.0		46.2	46.2	7.7	0.0	0.0
芸術活動や制作活動を通して、社会において豊かな人間関係を築く力を身に付けている	15.4	64.1	15.4	2.6	2.6		30.8	56.4	10.3	2.6	0.0
美術分野の基盤となる素材や技術に関する専門的知識と技能を身に付けている	20.5	51.3	23.1	2.6	2.6		25.6	64.1	7.7	2.6	0.0
美術分野の基盤となる素材や技術に関する専門的知識と技能を用いた創造性豊かな表現ができる力を身に付けている	23.1	59.0	10.3	7.7	0.0		38.5	51.3	7.7	2.6	0.0
芸術活動や制作活動の中で常に向上心を持っている	51.3	35.9	12.8	0.0	0.0		46.2	38.5	7.7	7.7	0.0
集中力や持続力を保つ中で専門性を磨いている	28.2	48.7	12.8	10.3	0.0		33.3	56.4	7.7	2.6	0.0
表現者・職業人として地域社会や教育界に貢献できる力と態度を身に付けている	12.8	38.5	35.9	10.3	2.6		20.5	48.7	28.2	2.6	0.0